

事業名	学校施設の改修・建替え
担当部署	教育委員会事務局 管理部 学校施設課

#### 行財政改革推進本部における論点(審議のポイント)

学校施設の耐震化について

学校施設の老朽化対策について

今後の学校施設の整備のあり方について

#### 主な意見

##### 【市民委員】

- ・学校施設の改修・改築は積極的に行ってほしい。
- ・教育部門が充実している市は、人口も安定しており、税収の増加にもつながると思う。
- ・従来の学校施設の考え方から今後は、少子高齢化、避難場所など多目的な地域コミュニティとしての役割が求められている。フレキシビリティな施設、レイアウトに変化していくことで、新たな施設の建設を検討する必要が多少は省けるのではないか。
- ・少子高齢化が進む中で、地域住民が、お年寄りから乳幼児まで集える様な学校プラス施設、地域の要となる様な建物ができたら良いと思う。
- ・103の小学校、57の中学校すべて必要なのかも考えていく必要がある。旧市ごとの通学区域を見直すなどして、近隣の学校3校を2校にまとめるなど統合できる場所もあると思う。
- ・小中一貫校として2つの学校を1つにまとめれば、必要なくなった方は売却できるので、予算が確保できるのではないか。

##### 【市民モニター】

- ・子どもの安心安全のため、スピーディな老朽化対策、長寿命化計画を早急に進めてほしい。
- ・小中学校、公民館、図書館などの施設の複合化には賛成であり、とても興味深い。利便性の向上、公共施設の利用率の向上につながると思う。
- ・駅の近くにある学校の改築時には、保育園やコミュニティホールを同居させて建築してほしい。
- ・少子化の現代では、学校もまとめていくという方法が良いのではないか。
- ・モデル校が最新設備を整備される一方で、建築後40年以上経ったままでは、子どもたちの教育環境に開きが出ると考える。